

癌化学療法プロトコール

氏名: \_\_\_\_\_  
 ID: \_\_\_\_\_  
 体表面積: \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup> 体重: \_\_\_\_\_ kg

プロトコール名 **R-CHOP療法**  
 対象疾患 B細胞悪性リンパ腫  
 診療科 血液内科  
 施用者 \_\_\_\_\_

1 投与薬剤名、投与量、投与方法

	投与薬剤名	投与量	投与可能量 (mg)	溶解、希釈液	投与方法
①	生食	500mL			血管確保とフラッシュ
②	セレスタミン	1錠			リツキシマブ投与の30分前に内服
	カロナール	2錠			
③	リツキシマブ	375mg/m <sup>2</sup>		生食で10倍希釈	特記事項参照。
④	グラニセトロン バッグ	3mg/50mL (1袋)			15分点滴
⑤	オンコピン	1.4mg/m <sup>2</sup>		生食50mL	15分点滴(最大2mg/body/回)
⑥	ドキシソルビシン	50mg/m <sup>2</sup>		生食100mL	30分点滴
⑦	エンドキサン	750mg/m <sup>2</sup>		生食500mL	2時間点滴
	プレドニン	100mg/body		内服	5日間連日内服

2 投与方法の図式

時間 (hour)	2	4	6	8	10
①生食	→				
②セレスタミンなど	↓				
③リツキシマブ	→				
④グラニセトロン		→			
⑤オンコピン		→			
⑥ドキシソルビシン			→		
⑦エンドキサン			→		

3 投与スケジュール

3週間毎に6~8回施用する。

4 特記事項

- ※ リツキシマブの初回は50mL/hで1時間、100mL/hで1時間、残量を200mL/hで点滴を行う。  
 2回目以降は医師の判断において、100mL/h以上から開始できる。
- ・ リツキシマブ点滴時は30分毎にバイタルを確認する。
  - ・ オンコピンは1回の最大投与量は2mg/bodyまで。
  - ・ ドキシソルビシンは総投与量500mg/m<sup>2</sup>以上で重篤な心毒性が起こりやすい。
  - ・ オンコピン、ドキシソルビシンは壊死性抗がん剤なので、血管外漏出に注意し、観察を行うこと。
  - ・